

— News Release —

各 位

2012年11月27日
日本アジアグループ株式会社

日本アジアグループ、北海道本別町にて 「本別ソーラーウェイ(1MW)」建設がスタート

グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社（コード：3751、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：呉文繡、以下「日本アジアグループ」）傘下のJAG国際エナジー株式会社（代表取締役社長：木村泰宏）は、このたび北海道本別町（高橋正夫町長）において「本別ソーラーウェイ」の建設をスタートいたします。

本別ソーラーウェイは約1MW、一般家庭の約300世帯※1に相当する規模の太陽光発電所になります。総事業費は約3.5億円を見込み、発電した電力は北海道電力に売電する予定です。パネルは高い実発電量の実績を持つソーラーフロンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：亀田 繁明）のCIS太陽電池モジュールを利用し、2013年夏の竣工を目指します。



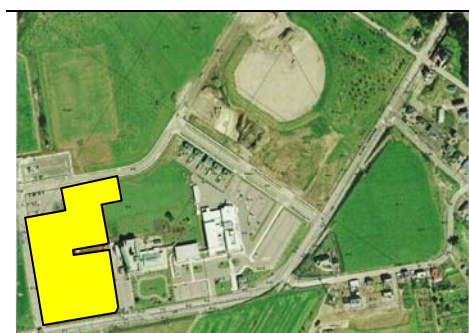
本別ソーラーウェイ 完成イメージ

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行うとともに、地域住民の方々と本施設を活用した地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めてまいります。

以上

■ 「本別ソーラーウェイ」開発計画概要

発電所名称	本別ソーラーウェイ
立地場所	中川郡本別町西美里別8番地11 太陽の丘
現況	雑種地
立地面積	約21,000㎡
出力	約1MW
竣工時期	2013年8月末（予定）
パネル種類	CIS化合物型 ソーラーフロンティア株式会社製



現地航空写真

※ 1 住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量：3.0～3.5kW（当社調べ）

【日本アジアグループについて】

日本アジアグループは、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

- 【名 称】 日本アジアグループ株式会社（持株会社）
 - 【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ（コード：3751）
 - 【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
 - 【資 本 金】 38 億円
 - 【従業員数】 2,754 人（連結）（2012 年 4 月末現在）
 - 【子会社数】 69 社（2012 年 4 月末現在）
-